

【差替え後】

新型コロナウイルス感染症自宅療養者への 医療支援事業等について

1 概要

新型コロナウイルス感染症自宅療養者の医療支援については、令和3年10月時点では、東京都から立川市へ送られる自宅療養者の情報を基に医師会へ提供して実施していく予定であった。しかしながら、当初予定の方法と比べて、通常の医療機関と保健所で活用している HER-SYS(新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理システム)を活用する方が医療情報も詳細であり、即時性もあるため、変更して実施していくこととした。

2 経緯

東京都は、令和3年12月20日より HER-SYS 等を利用した発生届の作成と、電話等による健康観察を実施していく「診療・検査機関による健康観察等支援事業」を開始。これまで保健所が担ってきた健康観察を、診療医療機関が実施できることになった。しかしながら、発生届を作成した医療機関の全てが健康観察をできていないことから、健康観察未対応者が生じており、そうした市民に健康観察を行う必要性があったことから、保健所とも協議し、今回の対応を実施することになった。

3 医療支援状況

令和4年1月24日(月)～1月31日(月)健康観察 420 件
令和4年2月1日(火)～2月 25 日(金)健康観察 1,406 件
合計 1,826 件

4 食糧支援、パルスオキシメータ貸与状況について

食糧支援 1,579 件、2,434 個(令和3年8月 25 日～令和4年2月 25 日)
パルスオキシメータ貸与 267 件(令和3年9月9日～令和4年2月 25 日)

5 東京都「感染拡大時療養施設」等の開設について

東京都は、新型コロナウイルス患者の無症状者等を対象とした「感染拡大時療養施設」(300 床)を本市多摩モノレール立飛付近に設置し、2 月 9 日より受入開始。そのうち、100 床を2 月 21 日より、医療機能を付加し、軽症から中等症 I を受入れる多機能型施設としている。また、2 月 28 日より、同高松付近の都施設を転用し、東京都立川高松ワクチン接種センターとして運営を開始。